

#4:すべてを含む、無限に拡張するキリストを、すべての積極的な事物の実際として知り、経験する 2020/2/3-9

Overview:キリストが日ごとの飲食、週ごとの安息日、月ごとの新月、年ごとの祭りの享受の実際であることは、彼があらゆる積極的な事物の実際であることを示します。それはまたキリストの宇宙的な拡張を暗示します。すべてを含む、無限に拡張するキリストは、吸引力に満ち、豊富な磁力を持っており、聖書の本質です(I)。旧約は人物、動物、植物、鉱物、ささげ物、食物を用いて、キリストを記述しています。新約において、キリストは実際の霊であり、キリストの追随できない豊富を私たちにとって実際とします。その霊は主の言葉を通して、このすべての豊富を私たちの中へと注入し分与します(II)。かしらであるキリストを享受すればするほど、私たちはからだの感覚を持ち、復活の中に入り、天然の存在から救われ、天上にもたらされます。私たちはキリストの豊富を享受して、からだの建造に至ります(III)。

I. 「そういうわけで、食べることと飲むことについて、あるいは祭りや新月や安息日について、だれにもあなたがたを裁かせてはなりません。これらは来たべき事柄の影であって、その本体はキリストにあります。あなたがたをふさわしくないと断って裁く…者に、あなたがたの賞をだまし取らせてはなりません」:(月曜日)

A. コロサイ2:17における本体は実質であり、人の体のようです。律法における儀式は、人の体の影のように、キリストの影であり、キリストは福音の実質また実際です。コロサイ人への手紙は、そのようなすべてを含むキリストが、神のエコミーの中心であるということを示しています。

B. 日ごと、週ごと、月ごと、年ごとに、キリストはあらゆる積極的な事物の実際であり、この事はすべてを含むキリストの宇宙的な拡張を暗示します:

1. 日ごとに、キリストは私たちの食物と飲み物であり、この事は私たちの満足と強化のためです。

Iコリント10:3 そして、みな同じ霊の食物を食べ、

2. 週ごとに、キリストは私たちの安息日であり、この事は私たちが彼にあって成し遂げ、安息するためです。

マタイ 11:28-29 すべて労苦し重荷を負っている者は、私に來なさい。そうすれば、私はあなたがたに安息を与える。…私のくびきを負い、私から学びなさい。そうすれば、あなたがたは魂に安息を見いだす。

3. 月ごとに、キリストは私たちの新月であり、この事は暗やみの中で光を伴う新しい開始です。

4. 年ごとに、キリストは私たちの祭りであり、この事は私たちの喜びと享受のためです。

C. すべてを含む、無限に拡張するキリストは、吸引力に満ち、豊富な磁力を持っており、聖書の本質です。

D. 文脈によれば、コロサイ2:18の「賞」は、影の本体としてのキリストに対する享受です。私たちの賞をだまし取られるとは、キリストに対する主観的な享受をだまし取られることです。

E. 私たちの必要は、主観的なキリストが私たちの享受となつて、私たちの内側で神聖な啓示を完成することです。もし私たちがキリストに対する経験と享受に欠けるなら、神の啓示にも欠けます。

F. 私たちが日ごとに行なうことは何であれ、キリストがその事柄の実際であることを、私たちは思い起こすべきです。私たちが日常生活の中で、訓練してキリストをすべての物質的な事物の実際とするなら、私たちの日常の歩みは徹底的に変えられ造り変えられて、私たちはキリストに満ちます。 **月火**

G. 私たちは日ごとに、キリストを私たちのすべての必要の実際として享受する必要があります:**1.** キリストは、私たちの息です。**2.** キリストは、私たちの飲み物です。**3.** キリストは、私たちの食物です。**4.** キリストは、私たちの光です。**ヨハネ 1:4** 彼の中に命があった。この命は人の光であった。**8:12** イエスは…彼らに語って言われた、「私は世の光である。私に従う者は、決して暗やみの中を歩くことがなく、命の光を持つ」。**5.** キリストは、私たちの衣服です。**6.** キリストは、私たちの住まいです。 **水**

II. すべてを含む、無限に拡張するキリストは、宇宙におけるすべての積極的な事物の実際です:**A.** 宇宙とその中のすべての物と人は、キリストを記述する目的のために創造されたので、彼はご自身を彼の弟子たちに啓示するとき、どのような環境の中でも、ご自身の例証とする物や人物を容易に見いだすことができました。

B. 旧約は六つの主要な部類のものを予表として用いて、キリストを記述しています。それは人物、動物、植物、鉱物、ささげ物、食物です:**1.** 人物はキリストを予表します。例えば、アダム、メルキゼデク、イサク、ヨナ、ソロモンです。

2. 動物はキリストを予表します。例えば、小羊、獅子、牛、わし、かもしかです。

3. 植物はキリストを予表します(彼は命の木です)。例えば、ぶどうの木、りんごの木、いちじくの木、ざくろの木、オリーブの木です。木のさまざまな部分もキリストの予表です。例えば、根、切り株、芽、若枝、枝、実です。**4.** 鉱物はキリストを予表します。例えば、金、銀、銅、鉄、さまざまな種類の石(生ける石、岩、隅の石、頂石、土台の石、宝石)です。

5. ささげ物はキリストを予表します。例えば、罪のためのささげ物、違犯のためのささげ物、全焼のささげ物、穀物のささげ物、平安のささげ物、揺り動かすささげ物、挙げるささげ物、注ぎのささげ物です。

6. 食物はキリストを予表します。例えば、パン、小麦、大麦、ぶどう、いちじく、ざくろ、オリーブ、乳、蜜です。

C. 新約において、キリストは実際の霊であり、彼であるすべての追随できない豊富を私たちにとって実際とし、私たちが神聖な実際としての彼ご自身の中へと導きます。

D. すべての予表の実際の要素はその霊の中にあります。その霊は主の言葉を通して、このすべての豊富を私たちの中へと注入し分与します。**ヨハネ 6:63** 命を与えるのはその霊である。…私があなたがたに語った言葉は霊であり、命である。**エペソ 6:17-18** また救いのかぶとを受け取りなさい。さらにその霊の剣、すなわちその霊である神の言葉を、すべての祈りと願い求めによって受け取りなさい。どんな時にも霊の中で祈り、すべての聖徒のために根気と願い求めの限りを尽くし、このために目を覚ましていなさい。 **木**

III. すべての積極的な事物の実際であるキリストは、からだのかしらである方です。ですから、かしらに結び付くとは、キリストをすべての積極的な事物の実際として享受することです:**コロサイ 2:19** かしらに結び付いていないのです。

この方から、からだ全体は、節と筋によって豊かに供給され、結合され、神の増し加わりによって成長するのです。

A. 私たちがすべてとして享受するキリストは、からだのかしらであるので、私たちは彼を享受すればするほど、ますますからだに対して感覚を持ちます:

1. これが示しているのは、キリストを享受することが単独の事柄ではなく、からだの事柄であるということです。

2. 私たちはキリストを享受すればするほど、ますますからだの他の肢体を愛します。

コロサイ 1:4 それは、キリスト・イエスにあるあなたがたの信仰と、すべての聖徒に対して抱いているあなたがたの愛を聞いたからです。

B. キリストの頭首権は復活の中にあるので、キリストを享受することは自然に私たちを復活の中へともたらし、私たちを天然の存在から救います。 **金**

C. キリストを享受することは、私たちを昇天において天上へともたらします。私たちは、私たちの霊の中の命を与える霊としてのキリスト、かしらを楽しむことによるのみ、経験的に天にいたることができます。 **コロサイ3:1-2** こういうわけで、もしあなたがたがキリストと共に復活させられたのなら、上にあるものを求めなさい。そこにはキリストがいて、神の右に座しておられます。あなたがたの思いを、地にあるものではなく、上にあるものに置きなさい。

D. 私たちはキリストを享受し、かしらとしての彼に結び付くとき、すべてを含む、無限に拡張するキリストの豊富を吸収します。これらの豊富は私たちの中で神の増し加わりとなり、それによってからだは成長して、それ自身を建て上げます。 **コロサイ2:7** **すでに彼の中に根ざしており、そして建造されながら、また教えられたように信仰において堅固にされながら、感謝にあふれて、** **+**

Crucial Point(1):毎朝、「Oh Lord!」で始め、朝毎の復興を実行し、主と共に喜びと活力をもって出勤すれば、**要求に満ちた職場は良き地となる**

OL1:私たちが日ごとに行なうことは何であれ、キリストがその事柄の実際であることを、私たちは思い起こすべきです。私たちが日常生活の中で、訓練してキリストをすべての物質的な事物の実際とするなら、私たちの日常の歩みは徹底的に変えられ造り変えられて、私たちはキリストに満ちます。

私たちは忍耐を持っていると思うかもしれませんが、真の忍耐はキリストご自身です。…神はおられますが、この神はキリストの中におられます。…人はいますが、この人はキリストの中にいます。…御子はおられ、この御子はキリストです。…命はありますが、キリストだけが真の命です。…光はあり、そしてこの光はキリストご自身です。毎朝私たちは衣服を着るとき、キリストが私たちを真に覆うもの、真の衣服であるという感覚があるのでしょうか？ 私たちがベッドに横たわろうとしているとき、キリストは私たちの真の安息、真のベッドであるという認識を持っているのでしょうか？ 私たちは帰宅しようとしているとき、主が私たちの家、住まいであるという感覚を持っているのでしょうか？ 二階に歩いて行こうとしているとき、キリストが私たちの真の階段であり、彼を離れて上がることも下りることもできないことを認識しているのでしょうか？ 門を出ようとしているとき、私たちは主に、「主よ、あなたは私の門であり、入り口であり出口です」と告げるのでしょうか？ 私たちはキリストを、これらのすべての項目の実際として経験しているのでしょうか？ 私たちは主に、「主よ、あなたは私の太陽、私の月、私の道です」と告げることができるのでしょうか？ 私たちの目標は、印刷された白黒の文字にしたがって聖書を単に理解することではありません。そうではなく、私たちは神の生ける御言に来て、キリストがすべてであるという深い感覚を得て、この経験の中へともたらされつつあります。これは、神が過去の永遠に計画されたことであり、神が今日行なっておられることです。これを認識している主の子供たちはほとんどいませんが、神の意図は、キリストが私たちにとってすべてとなられることです。これが神の意図であるので、私たちは実行上の道を学んでキリストを経験し、彼と接触し、彼を適用しなければなりません。

ピリピ1:19 というのは、あなたがたの祈り求めることと、イエス・キリストの霊の満ちあふれる供給を通して、このことが私にとって救いとなることを知っているからです。 **コロサイ2:17** これら(飲食、安息日、新月、祭り)は来たるべき事柄の影であって、その本体はキリストにあります。

キリストは宇宙の中のあらゆる積極的な事柄の実際です。例えばキリストは食物、家、家族、友人、恩師、上司、先輩、名誉、知恵、力、望み、光などの実際です(詩歌388)。キリストの中にはこれらすべての実際があります。そしてキリストは今日、すべてを含む命を与える霊であり、あなたが自分の霊を活用して主の御名を呼び求め、聖書の言葉を祈り読みする時、命を与える霊に触れ、キリストの中のすべての実際を享受することができます。

青年在職者であるあなたは、キリストを喜びと活力として経験してください。主の中でいつも喜んでいて、朝起きたらまず、「Oh No!」ではなく、「Oh Lord!」で始めてください。「Oh No!」には、「今朝は特に疲れが取れていない」、「今朝は寝不足で頭痛がひどい」、「今日は会社で嫌な上司と会議がある」などの消極的な考えが含まれています。「Oh No!」で始めると、暗い気持ちで会社に行くので、最終的に会社に行きたくなくなり、当然業績も上がりません。しかしあなたが「Oh Lord!」で始めるなら、喜びと活力で満たされます。朝、目が覚めた時に「Oh No!」と言うのではなく、単純に霊を活用して、「Oh Lord Jesus! Oh Lord Jesus!」と言ってください。これは起きた時に思いを肉に付けない良い訓練です。思いを肉に付けて「Oh No!」と言うと、苦しみ、悩み、わめき等で満たされるので、暗い顔をして会社に行くことになり、いやいや仕事をするようになります。思いを肉に付けると、「Going down」の生活が強いられ、思いを霊に付けると、「Going up」の生活が期待できます。 **ローマ8:6** **肉に付けた思いは死ですが、霊に付けた思いは命と平安です。**

「Oh Lord Jesus!」で起きてから身支度をして、団体の朝毎の復興を実行した後、主と個人的に交わる時間を持ってください。そして喜びと活力を持って主と共に会社に行ってください。一旦会社に行くことあなたには、集中力、理解力、忍耐力、英語などの語学力、洞察力、協調性、行動力、他者を正しく巻き込む力、突破力などが必要になります。キリストはこれらすべての能力の実際です。ですから要求に満ちた職場は、実は良き地、すべてを含むキリストを経験する領域になることができます。 **祈り:**「おお主イエスよ! キリストはあらゆる積極的な事柄の実際です。毎朝主の御名を呼び、思いを霊に付けて一日を開始します。団体の朝毎の復興と、個人的な朝毎の復興によって喜びと活力を得ます。こうすれば私の要求に満ちた職場が、キリストをあらゆる能力として経験するための良き地となることができます。主を賛美します! アーメン!」

Crucial Point(2):学校生活において、語りかける霊の語りかけを聞き、導かれ、この世から聖別される

OL1:新約において、キリストは実際の霊であり、彼であるすべての追随できない豊富を私たちにとって実際とし、私たちを神聖な実際としての彼ご自身の中へと導きます。

OL2:その霊は主の言葉を通して、このすべての豊富を私たちの中へと注入し分与します。

神は私たちに、順風満帆で、地から天まで、この時代から王国時代に至るまで、順調な環境を決して約

束されたものではありません。人には常に問題があります。しかしながら、クリスチャンと未信者の違いは、私たちクリスチャンは、苦悩の中でもなお歓喜することができ、思い煩わないことです。実は、私たちが歓喜することができるわけではありません。そうではなく、その霊が私たちの中で歓喜されるのです。

主に感謝します。主は私たちに聖書を与えてくださいました。それはとても尊いのです。その本質と範囲はキリストであり、聖書が語っているこのキリストは、最終的にその霊と成られました。…ローマ 8:16 は言います、「その霊ご自身、私たちの霊と共に、…証してくださいます」。これは、その霊が私たちの中にいて、私たちと共に語られることを意味します。啓示録 2:7 は、「その霊が諸召会に言われる」と言います。その霊は語る霊です。ですから、主イエスは言われました、「私があなたがたに語った言葉は霊であり、命である」(ヨハネ 6:63)。これは、主の言葉、主の霊、主ご自身が一であり、決して分離され得ないことを示しています。…私たちは日ごとに霊を活用して主の言葉を祈り読みし、豊富な供給を彼から取り入れるべきです。なぜなら主の言葉は霊であり、また命であるからです。

適用:新人及び青少年・大学生編

主を信じている人にとっても、信じていない人にとっても、人生は苦難に満ちています。苦難を通して人は何かを学ぶかもしれません。しかし神の目から見て、永遠の観点から見て、神の成分がその人の中に増し加わらなければ、あなたが何を学んでも永遠の価値はありません。

しかし主を賛美します。信じたあなたは苦難を通して造り変えられ、主の中で成長することができます。苦難の中で前進し造り変えられるために、あなたは(1)朝毎の復興を通して、主の新鮮な語りかけを聞くこと、(2)苦難を伴う学校生活で続けて主の語りかけを聞くことを実行してください。学校に行くと様々な苦難があります。その時あなたは次のように祈るべきです、「おお主イエスよ、人の人生には苦難が伴います。しかしクリスチャンにとって苦難には栄光の目標があることを感謝します。私は苦難を経過しても造り変えがないことを恐れます。永遠の価値があるのは、神だけです。神ご自身が私の中で私を更新し、造り変えてください。造り変えのため、霊を活用して主の語りかけを聞き、語りかけに開き続けることができますように。そうすれば主は私を一步一步導いてくださり、同時に栄光から栄光へと造り変えてくださいます」。

神の言葉を祈り読みすることと、あなたの学校生活は密接な関係があります。その霊の語りかけを持つことができれば、主が用意されたあらゆる環境、あらゆる人、あらゆる出来事の中で、あなたは問題を主の中で適切に解決することができます。ダニエル10:19 そして、彼は言った、「尊ばれる人よ、恐れてはならない。平安があなたにあるように。強くありなさい。そうだ、強くありなさい」。彼が私に語った時、私は力を受けて言った、「主よ、語ってください。あなたは私を力づけてくださったからです」。

主はあなたが若い時にあなたを救ってくださいました。主を賛美します。あなたはローマ1章の以下の御言葉を祈り読みして、神を礼拝し、キリストを高く上げてください。この世から来るあらゆる墮落した思想の根本原因は、神を礼拝しないこと、キリストを高く上げないことです。語りかける霊に従って、あなたが神を礼拝し、キリストを高く上げるなら、あなたはこの世から聖別された学校生活を送ることができ、主に導かれ祝福されます。

ローマ1:18 さて、神の激怒は不義をもって真理を抑え込む人たちのすべての不敬虔と不義の上に、天から啓示されています。…20 神の見えない永遠の力と神性の特徴は、世界が創造されて以来、明らかに見られており、造られた物によって認められているので、彼らには弁解の余地がありません。21 彼らは神を知っていながら、神として彼に栄光を得させず、感謝もせず、かえって彼らの思考はむなしくなり、彼らの愚かな心は暗くなりました。…25 彼らは神の真実を虚偽に変え、そして創造主ではなく被造物を拝み、それに仕えました。創造主こそ永遠にほめたたえられるべきです。アーメン。26 こういうわけで、神は彼らを恥ずべき激情に任せられました。すなわち、彼らの中の女たちは、その自然の関係を不自然なものに変え、27 同じように男たちも、女との自然の関係を捨てて、男は男と互いに欲情を燃やし、不自然なことを行ない、そしてその過ちの当然の報いを自ら受けています。28 また彼らは、自分の知識の中に神を持つことを認めようとしなかったため、神は彼らをその認めようとしぬい思いに、すなわち、ふさわしくない事柄を行なうことに任せられました。29 彼らはあらゆる不義、邪悪、むさぼり、悪意に満ちており、また、ねたみ、殺意、争い、欺き、憎悪に満ち、30 告げ口する者、陰口を言う者、神を憎む者、不遜な者、傲慢な者、誇る者、悪事をたくらむ者、親に逆らう者であり、…32 このような事を行なう者が死に値するという神の義なる裁きを、彼らは十分に知っていながら、それらを行なうばかりでなく、それらを行なう者たちと共に楽しんでいました。

Crucial Point(3):キリストはからだのかしらであるので、キリスト経験は私たちをからだの建造にもたらす

OL1:すべての積極的な事物の実際であるキリストは、からだのかしらである方です。ですから、かしらに結び付くとは、キリストをすべての積極的な事物の実際として享受することです。

OL2:私たちがすべてとして享受するキリストは、からだのかしらであるので、私たちは彼を享受すればするほど、ますますからだに対して感覚を持ちます。

OL3:キリストの頭首権は復活の中にあるので、キリストを享受することは自然に私たちを復活の中へともたらし、私たちを天然の存在から救います。

キリストに対する享受に欠けることは、敵、サタンに門を開き、入って来て、私たちがからだの他の肢体に対して批判的にならせるようにします。しかし、私たちが再び主を享受し始めるなら、その門は徐々に閉ざされていくでしょう。最終的に、私たちが絶えずキリストを享受しているなら、その門は完全に閉ざされるでしょう。その時、私たちは召会を批判するのではなく、召会生活のゆえに主を賛美し、何とそれを愛しているかを証しするでしょう。そのような変化をもたらすのは、訓戒や矯正によるのではなく、キリストに対する享受の回復によるのです。

私たちが食物、飲み物、息として享受する、愛すべき尊い方は、からだのかしらです。パウロにはこの徹底的な認識があったので、私たちの享受のためのすべての積極的な事物の実際としてのキリストから、かしらとしてのキリストの事柄に飛び移ることができたのです。私たちがすべてとして享受するキリストは、からだのかしらであるので、私たちは彼を享受すればするほど、ますますからだに対して感覚を持ちます。これが示しているのは、私たちがキリストを享受することが、単独の事柄ではないということです。それはからだの事柄です。私たちはからだの肢体として、団体の方法でキリストを享受する必要があります。

パウロがコロサイ書でキリストが神のエコノミーにおいて首位であり、すべてを含む方であり、神の中心性と普遍性であることを啓示する時、次の順番で提示しています。**①**聖徒たちの分け前、**②**神のかたちであり、創造と復活において最初に生まれた方、**③**神のエコノミーの奥義、**④**神の奥義、**⑤**すべての影の本体について言及した後、2:19でかしらであるキリストについて言及しています。これは私たちの分け前であり、すべてを含む、無限に拡張したキリストがかしらであるので、キリスト経験は召会建造のためであることを示しています。

聖書の中に個人的な経験が言及されていても、それは個人主義のためではありません。あなたが個人的に主と交わり、主を経験し、造り変えられるのは、召会建造のためです。あなたが日常生活でキリストを経験するのは、究極的にはあなたのためではありません。それはからだに益を得るためです。こういうわけでああなたが主の中で前進する時、個人主義を徹底的に対処する必要があります。このビジョンの下で、あなたは優先順位に注意してください。あなたのキリスト経験はビジネス・ライフに役立つとはいえ、それはビジネス上の繁栄のためではありません。それは神のエコノミーのゴールであるキリストのからだの建造のため、一人の新しい人の出現のためです。しかしまずあなたが神のためであれば、あなたの生活の必要は神によって顧みられます。

あなたにとって実際的に神のエコノミーとは福音と牧養です。ある姉妹の福音と牧養の証しを読んでください。姉妹の証し: 私は本山駅前の路上福音で救われました。救われた後すぐに福音に負担を持ったわけではなく、自分の都合のいい時だけ集会に参加していました。当初主日集会だけは必ず行くようにしていましたが、土曜日くらいは、好きな美術館に行ったり、ショッピングをしたりして自分のために時間を使いたいと思っていました。派遣社員から正社員に昇格してから、残業を強られるようになり、祈りの集会も最後の5分だけしか参加できない状況になってしまいました。私は召会生活のためにもっと時間を贖い取らないといけないと感じるようになりました。ある兄弟も在職者でしたが祈りの集会や、福音や牧養に参加しているのを見て、このままだといけない、自分も福音や牧養にもっとあざかりたいと思うようになりました。それから主に祈り、内側に感覚があり、自分は路上福音で救われたので、福音が嫌だなど思っているところを突破しなければいけないと思いました。そして兄弟姉妹たちと共に福音に行くようになりました。福音に行くようになって、自分のために時間を使っていた時よりも、平安を持つようになりました。自分のために時間を使っていた時は実はあまり満足がなかったです。兄弟姉妹たちと福音、牧養に行っている時に、自分が守られているという感覚を強く持ちました。年末から仕事を辞めて、全時間奉仕をするようになり、また1月中旬に三宮の集会所に引っ越しました。三宮付近の新人たちを顧みること、福音と牧養についてますます負担が増し加わってきました。キリストの享受は私をからだの建造のために、福音と牧養に導いてくださいました。

祈り: 「おお主イエスよ、私が享受しているキリストは、からだのかしらです。キリストを享受すればするほど、ますますからだに対する感覚が増します。私の個人主義を対処し、私を天然の存在から救い出し、復活へともたらせてください。からだの建造のために福音、牧養を実行することができますように。アーメン!」

武漢におけるコロナウイルスの感染は、コウモリの中のウイルスが原因ではないかと言われています。コウモリから蛇、蛇から人に感染したと言われています。

レビ11:13 また、鳥のうちで、次のものを忌むべきものとしなければならない。これらを食べてはならない。これらは忌むべきものである。すなわち、…19…こうもりである。

旧約聖書のレビ記では、食べ物に関する規定があります。13節から19節で述べられている汚れた鳥は、種を食べないで死体を食べます。これらの鳥(コウモリなど)は汚れており、食用になりません。ウイルス関係の生物学的な知識が十分でない時ですら、このような記載があることは、聖書が神の言葉であることを確認します。

このコロナウイルスの感染者数は中国で約6000人、死者は中国で132人(1月29日現在)であり、既にSARSの感染者数を上回っています。私たちは中国政府の感染拡散を避けるための厳しい交通規制措置を支持し、このために祈る必要があります。

他方、この事を通して私たちは聖書の中に啓示された福音の真理を再確認し、再評価する必要があります。

①人は非常にもろい: 創世記4:26 セツにも男の子が生まれた。彼はその名をエノスと呼んだ。その時、人々はエホバの御名を呼び求め始めた。

人類の第3世代目のエノスの名の意味は「もろい」「死ぬべき人」という意味です。人は容易に精神的に、あるいは肉体的に壊れます。人はもろいです。しかし、人がもろいことに気付いた時、人は主の御名を呼び求めて救われることができます。

②福音が人を第二の死から救う: ヘブル9:27 人が一度死ぬこと、その後、裁きが定められているように、

墮落と罪が入って来たことによって、人はすべて、一度は死ななければなりません。その時、墮落した人の魂と霊は体から引き離されて、ハデスの苦悩の場所で滅びます。しかしながら、この最初の死は、最終の定めではありません。

マタイ10:28 体を殺しても、魂を殺すことのできない者たちを恐れてはならない。むしろ、魂も体もゲヘナで滅ぼすことのできる方を恐れなさい。

啓示録20:14 また死とハデス[陰府]が火の池の中へと投げ込まれた。この火の池が、第二の死である。

15 だれでも命の書に書かれていないことが判明した者は、火の池の中へと投げ込まれた。

第二の死では、魂と霊が復活において体と再び結合されて、体と共に火の池へ投げ込まれます。これは未信者の全存在、霊と魂と体が火の池で、永遠の苦しみの中で滅びることを意味します。滅びる未信者は、命の書にしたがって火の池に投げ込まれます。主イエスを信じないことが、人を滅びに至らせる唯一の罪です。

使徒24:5 さて、この男(パウロ)は疫病(ペスト)のようなものであり、また人の住む至る所において、すべてのユダヤ人の間で反乱を起こしている者であり、私たちは福音を宣べ伝えて、福音の良いペスト菌を拡散させるべきです。

祈り: 「おお主イエスよ、武漢の恐ろしい感染症について見る時、私はあなたを畏れ、あなたを礼拝し、あなたを賛美します。聖書は真に神の言葉です。私は福音を信じ、永遠の命を得ました。永遠の命の発展は召会生活です。福音と牧養を実行することについて更に負担が増し加えられたことを感謝します。福音のペスト菌が日本において更に広がりますように。アーメン!」